

国家的に重要な研究開発の評価 (CSTI評価)の見直しに向けて(案)

平成14年度に構築された評価方法は、基本的に15年間踏襲されていることから、現時点での課題を洗い出し、CSTI本会議決定の改定を行うとともに、具体的な案件での評価実績(トライアル)を積み重ねながら、課題解決のための方策の具体化を図ることによって、より実効性の高いCSTI評価とする。

